

●Nikon D300 使用レポート

仕事の撮影では、デジタルの需要が年々、増加していき、その分、カメラに求める性能も高くなってしまいます。ハナ勘では、4年前にD70、2年前にD200を導入して対応してきましたが、今年は、早くもD300を導入しました。その理由を含めながらD300の使用レポートを書かせて頂きます。

D70は普及機と呼ばれるクラスで一般的な撮影には使えましたが、スタジオでの商品撮影などでは、粗悪なファインダーのおかげで使い物にならず、画質の面でも偽色やモワレ、赤外線カブリに悩まされました。中級機のD200では、それらの不満が一気に解消され、特に不満なく使っていました。しかし、商品撮影をした時、モニターでお客様に確認して頂いた所「端っこに余計なものが写っている」とクレームをつけられました。視野率95%のファインダーでは見えていなかったのです。偽色もLサイズや2Lサイズ程度では、ほとんど見えないので修整する必要も無かったのですが、大きくするとわずかですが色浮きが見えてしまいます。ホワイトバランスもスナップ撮影では「オート」を多用するのですが、シーンによっては極端な色カブリを起こすことがありました。また、体育館などの暗い室内では感度を高くする必要があるのですが、D70・D200は高感度の画質が今一でISO800にするのも躊躇してしまいます。暗い室内では、AFも頼りになるのは中央の1点だけで、ピント合わせを先にして構図は後からという撮影を余儀なくされます。この場合、中央のエリアでフォーカスロックしてから構図をやり直すのですが、その間に被写体が動いてしまうとやり直さなければならず、シャッターチャンスを逃してしまうのです。動体追従も私が期待するほどではなく、室内で子供が走り回る幼稚園の行事ではMFのフィルムカメラ

を使用して手動でピントを合わせていました。決して、D70・D200がダメなカメラという訳ではありません。一般的な撮影では十分な性能と画質なのですが、一応、プロの端くれとしては「条件によっては使えない」という不満がありました。AFに関してはF6やD2系なら問題なかったかも知れませんが、価格的に導入できなかったのが実情です（当然、D3も無理）。

そこでD300の登場です。No.39~40で新機能を紹介しましたが、まず、ファインダーは視野率100%で「余計なもの」が写る事はありません。偽色・モワレは皆無に近く、細かい縞模様の絵を撮影した時「デジタルでは無理かな？」と思っていたので、ちょっとビックリ。オートホワイトバランスも今までよりは正確で、高感度に関してもスナップなら気にせずISO1600が使えます。一番、感心したのがAFの性能で、隙間なく、敷き詰められた51点ものフォーカスエリアは、APSサイズのD300では画面一杯に配置されているような感覚で、この点に関してはフルサイズのD3より有利です。新機能の「3Dトラッキング」は、ピントを合わせた後、構図をやり直しても被写体を追いかけてくれるので、とても便利で、動体追従も精度が高く、幼稚園の室内行事でも初めてAFで撮影しました。そして、スタジオでの商品撮影では、パソコンからシャッターを切るのですが、今までパソコンでは撮影前の画像は見られませんでした。それが、ライブビュー機能で見られる上にピント合わせもパソコンからでき、画面のどこにでも合わせる事ができます。

D200の使用レポートでは「D70に戻れない」と書きましたが、今回はD200どころかフィルムカメラにも戻れません（中判や大判は別）。

●主要4機種画質比較

私が参加させて頂いているプロカメラマン対象のデジカメ勉強会で、キャノンとニコンの主要機種の実写テストが行われ結果を見せて頂きました。テストされた機種は、キャノンの「1DSマークⅢ」と「5D」、ニコンが「D3」と「D300」でした。5D以外は、この半年間に発売された新製品です。見せて頂いたプリントは、屋外で高層ビルの全景を撮影してA1サイズにプリントしたもの、スタジオで様々な小物を配置して撮影、A3サイズでプリントしたもの、公園などで撮影されたスナップ的な写真を2L程度にプリントしたものでした。色々な角度から検証が行われていましたが、

総合的な画質は ①1DSマークⅢ ②D3 ③5D ④D300でした。①~③はフルサイズで④のD300だけがAPSサイズ。③~④は約1200万画素ですが①の1DSマークⅢは2100万画素なので、当たり前といえる結果だと思います。ただ、A3サイズのプリントでは、ほとんど差はなく、逆に1DSマークⅢのプリントで細部の描写が悪くなっている部分がありました。これは、1DSマークⅢの画像だけが縮小されていて、デジタル画像は拡大するより縮小する方が、画素を間引いてしまうので、画質が悪くなると言われていることを実証しているように思われます。

●シグマ「DP1」ようやく発売開始！

昨年6月に作品が撮れるコンパクトデジカメとして紹介させて頂きながら、メーカーが開発の遅れを謝罪するなど、やきもきさせられましたが、ようやく3月に発売されました。残念ながら、テストするどころか目に見ることすら、まだできていません。仕方がないので、使われている方の話やネット上の話を書かせて頂きます。とにかく画像のシャープさは、ウワサどおり抜群で、デジイチの1000万画素クラスに引けを取らないそうです。色調は独特だそうで悪くはないが好みが分かれるみたいで補正は必須かもしれません。ただ、10万円という価格にしては、デザインは悪くないが質感がチープ、このカメラに内蔵ストロボはいらない、ファインダーをつけるべき（別売りで外付けビューファインダーがあります）、操作性が悪いなどの意見が多いようです。